

* 表記 :念 (ねん)

* 意味記述 :強く持ち続けている気持ちや思い。

* 意味素性 1 : G R A 用例 1 :年を取るにつれて、望郷の念が強くなっていった。

* 意味素性 2 : A B S 用例 2 :あの娘は先生に尊敬の念を抱いている。

* S 文例 : [人を尊敬する] 念が深い人は逆に人からも尊敬されるものだ。

* S ト文例 :私は、[早くこの仕事を終わらせなければいけないという] 念にずっととらわれていた。

[意味情報 1 / 2]

素性 G R A

関連 | 同義

関連 | 類義 気持ち, 思い

関連 | 対 1

関連 | 対 2

関連 | 対 3

関連 | 対 4

助数詞

[項の用法 1 / 2]

動詞 | ガ | (尊敬の / 危惧の / …) ★ | ガ | 高まる, 強まる, 高くなる, 強くなる。

動詞 | フ

動詞 | ニ

動詞 | 他

動詞 | 副二

形容 | ガ | (望郷の / …) ★ | ガ | 強い。

形容 | ニ

形容 | 他

形容 | 副二

名詞 | ガ

名詞 | ニ

名詞 | 他

[意味情報 2 / 2]

素性 A B S

関連 | 同義

関連 | 類義 気持ち, 思い

関連 | 対 1

関連 | 対 2

関連 | 対 3

関連 | 対 4

助数詞

[項の用法 2 / 2]

動詞 ガ	(畏敬の／…) ★ ガ 呼び起こされる。
	ニ (愛惜の／…) ★ ガ ある, ない。
動詞 ヲ	ガ (畏敬の／反省の／…) ★ ヲ 持つ, 抱く, 示す, 表明する, 失う, つのらせる。
	ガ (自責の／…) ★ ヲ かきたてる, 呼び起こす。
	ガ, ニ (反省の／…) ★ ヲ こめる。
動詞 ニ	ガ (不信の／感激の／…) ★ ニ かられる, うたれる。
動詞 他	
動詞 副ニ	
形容 ガ	
形容 ニ	
形容 他	
形容 副ニ	
名詞 ガ	
名詞 ニ	
名詞 他	

[連体用法]

NPOノ	
NPOナ	×
NPOノ／ナ	×
連体文例	

[連体被修飾用法 1]

ノNPO	<具体化> 哀悼の-, 望郷の-, 自責の-, 畏敬の-, 尊敬の-, 悲しみの-, 共感の-, 賞賛の-, 不審の-。
ノNPO補	
～ノNPO	
他NPO	
被連体文例	

[連体被修飾用法 2]

S平叙	～る
S文例	[人を尊敬する] 念が深い人は逆に人からも尊敬されるものだ。
Sト平叙	
Sト疑問	
Sト文例	私は、[早くこの仕事を終わらせなければいけないという] 念にずっととらわれていた。
副平叙	

副文例

備考 「との」可。「とする」不可。[S] 中に主語はあらわれない。[Sという] は文末制限なし。[S]、[Sという] ともにあまり使われない。

[形態情報 1 / 1]

合成語要素 ねん

要素表記 念 (ねん)

補足

合成 | 名前 -願

合成 | 名後 無-, 一-, 怨-, 雑-, 残-, 断-, 通-, 疑-, 邪-, 悪-

合成 | 形

合成 | 動 -掛 (が) ける

合成 | 副

合成 | 他